



## 障害があるということは、 災害時には普段以上のハンディとなる。

2011年3月11日の東日本大震災、未曾有の大災害の中、障害を持つ人々に何が起きたのか?福島県を中心に、被災した障害者とそこに  
関わる人々の証言をまとめた。

障害ゆえに、地震や津波から身を守れず、また必要な情報も得られ  
ない…。

「ここではとても生活できない」「周囲に迷惑をかけるから」と、多くの  
障害者が避難をあきらめざるを得なかった。そうしたなかで避難所に入  
った障害者を待ち構えていたのは…。

更には仮設住宅へ入居しても、そこでも大変な不自由が待っていた。  
原発事故により市民の姿が消えた避難区域には、取り残された障害者  
が不安な日々を送っていた。大震災に翻弄される障害者と、その  
実態調査・支援に奔走する人々の、困難の日々。

住み慣れた土地を追われ、避難先で新たな生活を模索する時、涙と  
ともに故郷への思いがあふれる。

マスメディアでは断片的にしか取り上げられない、被災地の障害者を  
取り巻くさまざまな課題や問題点が浮かび上がる。

## 逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者

2012年/日本語/74分/  
16:9/ドキュメンタリー  
製作:東北関東大震災障害者救援本部

**DVDパッケージも  
発売中!**

- 一般価格: 3,000円
  - 団体・ライブラリー価格(上映権つき): 10,000円
- 詳しくは東北関東大震災障害者救援本部へお問い合わせください。

### 東北関東大震災障害者救援本部

<東京事務局>

〒192-0046 東京都八王子市明神町4-11-11-1F

全国自立生活センター協議会(JIL)内

電話:042-631-6620

FAX:042-660-7746

E-mail:9enhonbu@gmail.com

作品URL:http://www.j-il.jp/movie/

東北関東大震災障害者救援本部は、DPI日本会議、全国自立生活センター協議会、ゆめ  
風基金といった障害者団体を中心に発足し、震災直後からさまざまな支援活動を行なっ  
てきました。被災3県に障害者支援センター設置、救援物資の調達と輸送、避難者の受け入  
れ、ボランティアの派遣、避難所や仮設住宅での聞き取り、移送支援など、現地の状況に  
応じて取り組んできました。

活動を通じ、当事者の声を記録すること・伝えることの必要性を感じ、この映像製作がスタート  
しました。また、震災から時間が経つにつれ、「何があったのか、忘れてはならない」と感じて  
います。それは決して被災地の人々のためだけではありません。本作を通じて各地の障害者  
とその関係者に、災害時の備えの必要性を伝えていきたいとも考えています。そして、被災地  
の一日も早い復興と、障害の有無を問わず誰もが安心して暮らせる社会の実現を願います。

### 【お問い合わせ】

新潟県立歴史博物館友の会事務局

〒940-2035 長岡市関原町1丁目字権現堂 2247 番 2

TEL 0258-47-6135 FAX 0258-47-6136

e-mail rekitomo2014@yahoo.co.jp

